

# みんなで防ごう、高齢者虐待

～高齢者の介護、がんばりすぎていませんか？～



☎ 高齢福祉課高齢者福祉係  
(市役所 1階⑤番窓口 ☎23-3331 内線302・303・309)

## 高齢者の「介護」と「虐待」

平成23年度に厚生労働省が行った調査によると、全国で約1万7千件の高齢者虐待が報告され、このうちの21名が死亡事例です。

虐待する約4割が「息子」、虐待される高齢者の約7割は常に介護が必要な状態で、更にそのうちの約7割に認知症の症状がみられます。

介護、特に認知症介護の負担が、虐待と大きくかかわっていると考えられます。

## こんなことが『高齢者虐待』

### 暴行を加える【身体的虐待】

たたく、つねる、殴る、ける、火傷を負わせる、意図的に薬を過剰に与える、ベッドにしばりつけるなど

### 精神的な苦痛を与える【心理的虐待】

排せつなどの失敗について高齢者に恥をかかせる、子ども扱いする、怒鳴る、ののしる、悪口を言うなど

### 金銭や財産を使う【経済的虐待】

必要な金銭を渡さない・使わせない、本人の預貯金や不動産などを本人の意思・利益に反して使うなど

### 性的な行為を強要する【性的虐待】

罰として裸にして放置する、キスなど性的行為を強要するなど

世話をしない【介護・世話の放棄】  
髪が伸び放題・肌が汚れている、空腹状態・脱水状態・栄養失調の状態にある、劣悪な住環境の中で生活させる、必要な医療や介護サービスを制限したり使わせないなど



## 虐待を起こさない地域づくり

### 「見守り」の第一歩

「こんにちは」などの挨拶や日常生活での声かけが、地域からの孤立を防ぎます。

### 「気づき」の第一歩

高齢者や介護者の元気がないなど気になるときは「どうかしましたか」などと声をかけましょう。

### 「助け合い」の第一歩

新聞が何日もたまっている、夜に部屋の電気がつかないなど、虐待につながる小さなサインに気付いたら早めに相談をしましょう。

## 緊急の対応が必要と感じたら

介護する家族の負担は考える以上に大きなものです。「家族だからこそきちんとしなければ！」という責任感や介護の疲れなどから虐待が始まることも少なくありません。  
高齢者の虐待は、社会的なサービスを利用して介護者の負担を軽減することや認知症の高齢者の対応について専門家のアドバイスを聞くことで、防いだり、状態を改善したりできることがあります。  
悩んだりつらい気持ちになったら、周りや公共機関などに助けを求めましょう。

法律で、虐待を受けていると思われる高齢者をみかけたら速やかに通報することが義務付けられています。通報者を特定する情報を漏らしてはいけません。決まっていますので「おかしいな」と感じたらためらわずに市高齢福祉課や地域包括支援センター、警察などに相談してください。



# 守ろう！ごみ出しルール

～再生資源物の排出マナー～

☎ 環境衛生課環境衛生係 (第2庁舎 ☎23-3331 内線548)

	回収できるもの	回収できないもの	出し方
空きびん	飲料用のびん 食料品のびん 調味料のびん	油分のついたびん 化粧品のびん 板ガラス、食器類	びんの色(無色・茶色・その他)ごとに分けて、青色の回収用コンテナに入れる。
空き缶	 缶詰などの食用缶 お菓子や粉ミルクの缶 ジュースやビールなどの飲料缶	油分のついた缶 スプレー缶 カセットガス缶 缶詰のふた ※缶詰のふたは燃えないごみ	つぶさずに、オレンジ色の回収用コンテナに入れる。
ペットボトル	 飲料用ペットボトル 酒や調味料のペットボトル ※PETマークのあるもののみ	 プラスチック容器 ※キャップは燃えるごみ	つぶさずに、回収用ネットに入れる。

再生資源物は

リサイクルしましょう



市では再生資源物(空きびん・空き缶・ペットボトル)を毎月2回、指定のごみステーションで回収しています。

また、市内13カ所で毎月1回、拠点回収を実施しています。

収集日は広報だて4月号配布時に同梱した回収カレンダーやごみステーションに設置している看板で確認できます。

再生資源物の出し方



中をすすいであら左表のとおりに出してください。

回収用コンテナなどは回収日前日の午前中に回収場所へ配置します。

配置するときには、飛散防止のためネットをコンテナの中に入れていただきます。

再生資源物を正しく分別し、資源のリサイクル、ごみの減量化に努めましょう。

困っています



●最近、ペットのエサが入っていた空き缶を洗わずに出す人がいます。他の資源物が汚れてしまうばかりか、カラスなどに回収場所が汚されてしまいますので、必ず中をすすぎ、きれいにしてから出してください。

●資源物をビニール袋にまとめて入れたまま回収用コンテナなどに出すと、ビニール袋から資源物を取り出す手間がかかり回収作業の妨げになりますので、袋には入れず資源物だけを出すようにしてください。

市民全員が気持ちよく暮らせるよう、ひとり一人が心がけましょう。

